

# 急性心筋梗塞症例における、薬剤溶出性ステント留置後の血管反応・新生内 膜被覆を光干渉断層法を用いて評価したステント間の比較検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

## 1. 研究の対象

2015年3月1日から2018年10月31日までに湘南鎌倉総合病院循環器科で急性心筋梗塞の診断で経皮的冠動脈形成術(薬剤溶出性ステントを留置)・光干渉断層法(OCT)検査を施行した患者さまの内、慢性期(3カ月から9カ月)に心臓カテーテル検査・OCT検査を受けた患者さまを対象とします。

## 2. 研究目的・方法

急性心筋梗塞症例におけるステント留置後の、慢性期の血管反応、ステントの被覆率を知ること、急性期のステント留置手技の最適化(後拡張して血管壁へのステント圧着を行うかどうかなど)につながる可能性があります。

研究実施期間：施設院長承認後 ～ 2020年12月31日

## 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

## 4. 研究に用いる情報の種類

患者背景(年齢、性別、身長、体重、血液検査)、病歴に関する情報、経皮的冠動脈形成術に関する情報 等

## 5. 外部への情報の提供

OCTデータの解析は下記施設へ委託しますが、匿名化した情報のみを提供し、個人情報(対応表を含む)データは提供しません。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

全南大学(Chonnam National University Hospital)  
Jaebongro 42, Donggu, Gwangju, South Korea, 501-757  
TEL: 82)10-2055-7919

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

湘南鎌倉総合病院 循環器科 部長 山中太

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

TEL：0467-46-1717 FAX：0467-45-0190

(第2版：2020年3月18日作成)